

楽 杉村楚人冠記念館テーマ展示
「楚人冠の刀剣鑑賞」

杉村楚人冠が所有していた短刀を初公開します。有法師(南北朝時代・大和)と見籠子永茂(江戸時代後期・仙台)の2本を見比べて、刀剣鑑定の初歩を体験し、楚人冠の趣味であった刀剣鑑賞の世界をのぞいてみませんか。

期間 3月4日(日)まで
開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日 月曜日(2月12日(月)は開館、13日(火)休館)
入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)
場所・図 杉村楚人冠記念館 ☎7182-8578



▲杉村楚人冠旧蔵の短刀

楽 鳥の博物館 第80回 企画展
**「日本の海鳥
 ーカムリウミスズメと
 行く海の旅ー」**

期間 1月27日(出)～6月24日(日)
開館時間 午前9時30分～午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
内容 島国である日本の周りには、翼を広げると2メートルを超えるアホウドリの仲間から、スズメほどの大きさのウミツバメの仲間まで、たくさんの海鳥が暮らしています。日本の周りの海を旅するカムリウミスズメと一緒に、海鳥たちに会う旅に出かけましょう。
入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下・70歳以上無料) **場所・図** 鳥の博物館 ☎7185-2212



▲日本周辺の海域にのみ分布するカムリウミスズメ

楽 第4回 楚人冠講座
「楚人冠の紀行文で読む日本のあちこち」

新聞記者らしく、あちこちへ取材に出かけては紀行文を残した杉村楚人冠。その楚人冠の作品を読んで、昔の日本各地の様子を見てみましょう。

日時 2月4日(日)午前10時～11時(9時30分開場)
場所 アビスタ第2学習室 **定員** 先着45人(要申込)
費用 無料



▲楚人冠も訪れた玉川温泉

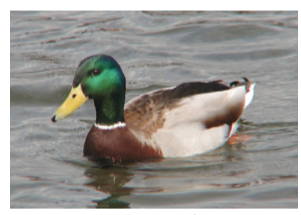
講座終了後、杉村楚人冠記念館テーマ展示「楚人冠の刀剣鑑賞」を案内するガイドツアーを開催します。 **定員** 先着20人(要申込) **費用** 無料(要入館料)

申・図 図書館アビスタ本館 ☎7184-1110

楽 環境レンジャーネイチャーイン 「手賀沼船上冬鳥観察会」
 ～旬の手賀沼の野鳥を船上から観察して楽しみませんか～

冬の手賀沼には冬鳥がたくさん集まり、野鳥観察のベストシーズンです。船上からのバードウォッチングは、陸からの探鳥とは全く違った景色が満喫できます。コガモやマガモなどのカモたち、カムリカイツブリ、オオバン、アオサギ・ダイサギ・コサギなどのサギたちや猛禽のミサゴなど、多くの野鳥に会えます。運が良ければカワセミの飛び姿も見られます。

日時 1月28日(日)午前10時～11時(受付10分前～) ※荒天中止
集合場所 手賀沼公園内「ボートセンター小池」前
定員 先着32人 ※小学生以下は保護者同伴 **費用** 無料
申・図 1月24日(火)までに手賀沼課 ☎7185-1484



▲冬に飛来するマガモ

楽 あびこ自然観察隊 「オーイ！冬鳥くん」

日時 2月11日(日)午前9時～正午 ※雨天中止
内容 手賀の丘の森や手賀沼湖畔を歩いて冬鳥を観察します。
定員 先着50人 ※小学生以下は保護者同伴
費用 100円(保険料)
持ち物 筆記用具、防寒具、あれば双眼鏡(貸出可)
集合場所・申・図 手賀の丘少年自然の家(柏市泉1240の1) ☎7191-1923



▲冬鳥として渡来するウン

楽 市内散策ツアー 「リーチの足跡を訪ねて」

日時 1月28日(日)午前10時～11時30分(9時45分集合)
集合場所 アビスタエントランス(手賀沼公園側)
コース バーナード・リーチ碑→天神坂→三樹荘跡→嘉納治五郎別荘跡→志賀直哉邸跡→白樺文学館(特別企画「バーナード・リーチ展」開催中)
定員 先着20人(要申込)
費用 無料(要入館料※2割引)
申・図 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583



▲現存する「三樹」

クイズ あびこの自然と文化 45
 ～杉村楚人冠記念館～

楚人冠記念館で展示中の刀剣は、「なかご」という部分に刀匠の名前が刻まれており、いつ、どこで作られたものか知ることができます。では、その「なかご」を漢字一字で書くと、次のうちどれになるでしょう。

①鋳 ②鋳 ③莖 ④棟

正解者の中から抽選で、鳥の博物館・白樺文学館・杉村楚人冠記念館に入館できる3館共通券をペアで5組の方にプレゼントします。

申・図 はがき・ファクス・Eメールにクイズの答え・住所・氏名・電話番号を明記し、1月29日(月)必着で、〒270-1192市役所あびこの魅力発信室(住所省略可) ☎7185-2493 ✉quiz@city.abiko.chiba.jp ☎7185-2493 ※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。答えは2月16日号に掲載します。

図書館員が選ぶ 6
 この一冊

『ロング・グッドバイ』 早川書房
 レイモンド・チャンドラー著/村上春樹訳

私立探偵フィリップ・マーロウは、大富豪の娘と結婚したテリーと偶然知り合い、毎晩のように酒を酌み交わすが、テリーは妻殺しの容疑をかけられ自殺してしまう。複雑な事件に否応なく巻き込まれていくマーロウ。事件の闇に隠された意外な真相とは…。

全編が探偵の一人称で語られる長編ハードボイルド小説の傑作。“さよならを言うのは、少しだけ死ぬことだ”など珠玉の台詞も満載。チャンドラーから影響を受けたという訳者の村上春樹によるあとがきも興味深い。清水俊二の旧訳と読み比べるのも一興。読み始めたら止まらないこと請け合いだ。

消費生活センターだより 70
 消費生活センターに相談したはずが、探偵だった!?

「架空請求メールの送信者に連絡してしまい、高額な料金を請求された。インターネットで相談窓口を検索し、電話をしたところ『このままでは大変な事になる。解決しましょう』と言われお願いした。後日、送られてきた契約書を見ると『事業者の調査』と記載があり、本当に解決してもらえるか心配だ』という相談があります。これは、架空請求メールからの「二次被害」といわれるものです。

公的機関だと思い連絡したところ、実は探偵業者だったということがあります。このような事業者が行えるのは「調査のみ」で、架空請求会社からの請求を止めることや、支払った料金を返金させることはできません。事業者と被害回復などの交渉をするには、弁護士などの資格が必要です。相談する際は、公的な機関かどうか必ず確認してから連絡しましょう。

相談受付日時 図 消費生活センター ☎7185-0999
 平日、第2・4土曜日 午前10時～午後5時30分
 アビクオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)